

オウム真理教対策住民協議会ニュース

鳥山地域
オウム真理教対策
住民協議会

最近のオウム真理教 (アレン・ピカールの輪)の動向

オウム真理教は、組織的な勧誘活動を展開し、平成26年には新規信徒130人を獲得した。しかし、全ての信徒を定着させるには至らず、短期間で脱会する者も多く、平成25年と比較してほぼ横ばいとなった。また、教団はセミナーを開催するなどし、資金獲得にも取り組み、教団が保有する資金は平成12年以降増加し、現在6億9000万円に達している。これは、平成12年と比較すると、17倍以上の規模となった。一方松本・地下鉄サリン事件などの被害者・遺族に支払われた賠償金は、26年1月から10月までの累計で、約3300万円と僅少にとどまった。

主流派はセミナーで、700人以上の信徒を集め、麻原の生誕祭をおこなった。また、集中セミナーでは五休投地を繰り返す修行

立入検査実施施設(平成26年(2014年)1月から11月末実施分)



や、麻原の説法を誦する修行などを、数日間不眠不休で行った結果、膝から出血し呼吸困難で気絶する者なども出た。さらに、親と一緒に道場を訪れた幼児や小学生に、修行に興味を抱かせるために、小学生や未就学児向けの教材

を使用するなどして教化を図った事例もあった。一方上祐派は、麻原の化身であると説いた釈迦牟尼・観音菩薩・弥勒菩薩の三仏の仏画をこれまで掲示していたが、3月からは釈迦牟尼のみを掲示するなど、殊更、宗教色を排除し、脱麻原を意識した欺瞞的な手法を用いている。さらに、出家信徒の外部就労などによる賃金や高齢者の年金収入を吸い上げ、出家信徒には数千円のみ支給する出家制度も維持している。外部監査の取り組みでは帳簿書類の記入

をしないことも判明した。また、同派の資金源の一つである聖地巡礼と称する企画旅行は、これまで

連載 オウム真理教と闘い続ける⑬ 元鳥山総合支所区民部長 高山 博さんより

50回以上が実施されたが、一般の参加者を募っていたことや、観光庁長官の登録を受けずに企画旅行をしたとして、旅行法違反の疑い

平成15年6月、近づく夏を予感させるような蒸し暑い日差しの中、鳥山総合支所区民部長の辞令を受けた私は、鳥山総合支所に向かう途中、オウム信者の住む雑然とした鳥山のマンションの前に立ち、25年も前のここでの出来事を思い出していました。この建物の1・2階の所有者は、私立幼稚園の設置者でもあり、この建物の1階部分を幼稚園園舎として使用する計画でした。しかし、幼稚園の工事は中断し長く休園状態が続いていました。昭和51年から総務部総務課の私学係に配属されていた私は、私立幼稚園の事務を担当しており、休園中の設置者兼幼稚園長でもあった建物所有者と建設途中の建物の中で話し合いをもっていました。25年前に入ったこの建物がオウムの拠点となるなんて、何という事だろうという怒りが沸々と湧いてきたことを今もはつきり覚えています。一日も休むことなく監視を続ける住民協議会の皆さんの大変なパワーと倉本住民協議

で警視庁による捜査差押を受けた。(公安調査庁ホームページより抜粋) 会会長の力強いリーダーシップに励まされ、鳥山総合支所としても、少しでも何かの行動をおこせないかという気持ちもありました。当時、オウム施設からの異臭騒ぎやフィルターのついた換気孔のようなものが設置されているのが見え、オウムとの交渉の末、施設の立ち入りをする事が出来ました。その当時の佐藤総合支所長は建築等の専門家でもあり、一緒に立ち入りをお願いして、とりあえず危険そうなものは無いようでしたが、道場の異様な内装や設備等、気持ちの悪いものばかりでした。あれから12年、マンションの周辺もすっかり変わってしまいましたが、相変わらず「ひかりの輪」と名前を変えたオウムの拠点としての活動が続く、住民協議会の監視も15年もの長い間続いていることには、本当に頭が下がる思いで一杯です。地下鉄サリン事件から20年、鳥山に拠点が出来てから15年。時と共にサリン事件の怖さ、オウムの怖さが風化する事が一番危険だと思います。12年前の出来事を思い出しつつ、絶対に忘れてはいけない事があるのだと、今も強く思っています。

募金活動 … 今年も各地の盆踊り、夏祭り会場へ

7月にはじまり、8月の盆おどりや夏まつり会場での募金活動は何処へお邪魔しても心良く場所を空けて下さり問題なく活動出来るようになりました。

新樹苑の盆おどりでは、かつての烏山総合支所の職員や、応援して下さいました区の職員OBなど沢山の暖かい声援で、箱の中味もぐんと増えました。芦花公園駅前盆おどりでは、子

どもたちの笑顔に迎えられて、お父さん、お母さんが募金箱に立寄ると、箱の中をのぞきこんで募金の説明をするのが大変でした。はじめて募金箱を置いた、親和会の夏休み親子夕涼み会など、夏も終わりました。

9月からは秋のイベント会場へ伺います。ご協力よろしくお願いたします。

オウム真理教ひかりの輪（上祐派）について考える

1、オウム真理教による事件の本質

オウム真理教による一連の事件について、ひかりの輪は、麻原彰晃に責任の多くがあるかのように装っているところが見える。麻原が人格障害者・誇大自己症候群・被害妄想であり魔界の心理状態に陥り、一連のオウム事件を引き起こすに至った、とする見方が存在する。麻原を「欠陥人間」と言い切り、事件の責任の多くを麻原に押し付けることは、事件の本質を見誤ることに繋がる。そもそも事件の原因は、教団の教義に殺人を肯定する内容があったことに起因する。麻原に権力を集中、人間の尊厳を破壊する修行を強制、麻原に絶対服従の関係を築き上げ、教団内部に様々な組織的機能を築き、信者を配置し運営してきた。幹部信者は修行に励むと共に麻原への帰依を競い、自らの位を上げることに執着するが、この関係性こそが事件を必然化させる要因となった。教団は1999年に真理党を設立、2000年に総選挙に出馬し敗北すると、麻原は国家権力との対立を煽ることに懸命となるが、先鋭化する麻原を制止することを放棄し、命令にしたがった幹部信者の姿があった。宗教の教義に基づく殺人は、元教祖に多くの責任があるが、実行部隊となった幹部信者の責任も同様に重い。

2、アレフ（主流派）の信者を脱会させていると言うが

ひかりの輪はアレフの信者を脱会に導いたり、アレフへの入会を阻止しているとしているが、外部からみれば、信者がアレフからひかりの輪へ移動したくらいの印象で、私達には、同じオウム真理教内の信者との印象と写る。何人脱会させたなどと、ことさら騒ぎ立てるのは如何なものか。身勝手な論理と言われても仕方がないであろう。ひかりの輪を正義と捉え、アレフを悪とする図式こそ、自己中心的な考えに立脚したものと言える。さらに、上祐はひかりの輪は宗教団体ではないと言っているが、これこそ上祐一流のごまかしである。日常的な神社・仏閣の「聖地巡礼」の実行や、施設内部の祭壇の写真などを見れば、誰もが「宗教団体」との認識を持つであろう。

3、外部監査委員会について

外部監査委員会とは、信者ではない「一般の人」が、ひかりの輪を外部から監査するというもので、4年前に設立されたが、その目的はひかりの輪が「安全」な団体との印象をアピールすることにあつた。ひかりの輪がこの制度を作った当初、上祐が観察処分逃れに有効と期待したことは、松本サリン事件で冤罪となり、知名度もある河野義行氏を委員長に起用したことで分かる。しかし、その努力の甲斐もなく、ひかりの輪は今年1月、3年間の観察処分に処され、外部監査委員会の制度が充分機能しなかったことを認識したようだ。ちなみに外部監査委員会の会議の開催状況は、制度を開始した2011年と翌年2012年は5回、2013年は3回、2014年は4回（ひかりの輪ホームページより）で、2014年9月28日を最後に、今年はまだ開催されていない。事の真相は分からないが、これまで、会議は一年に3回から4回の頻度で行っていたが、すでに12ヶ月も会議の開催がない。さらに外部監査委員会の帳簿・書類の記入すらなかったことも判明している。これは、制度への上祐の期待と現実に落差があり、それ程重視する制度ではなくなったのだろうか。

4、上祐史浩を信用できない

地下鉄サリン事件後、ロシアで教団拡大の使命を受け活動していた上祐は急遽帰国し、教団の犯行説を打ち消すべく、連日テレビに出演「地下鉄サリン事件はオウム真理教の犯行ではない」と大見得を切っていた。しかし、上祐はその時教団のナンバー2の地位にあり、サリンの製造を知っていた上での発言であった。偽証罪で服役後、アレフに名称を変更した教団の代表として活動していたが、考えの違いからアレフを脱退、分派ひかりの輪を設立した。その後は田原総一郎氏を始め、著名人との対談などを利用し「危険でない団体」のアピールに懸命となっている。その時々で「上手に立ち回る」上祐を、私達は信用も出来ないし、許すことは到底できない。

住民協議会活動報告

7月18日（土） 千駄山ふれあい祭りで募金活動
7月22日（水） 夏休み親子の映画会で募金活動
7月22日（水） 実行委員会
7月25日（土） 新樹苑盆踊り大会で募金活動
7月29日（水） 芦花公園駅前盆踊り大会で募金活動
7月30日（木）～8月1日（土）
からすやま夏まつりで募金活動
8月3日（月） 事務局会議
8月7日（金）・8日（土） 給田納涼盆踊り大会で募金活動

8月17日（月） 実行委員会
8月21日（金）・22日（土）
リンレイ公園お笑い夏まつり15で募金活動
8月29日（土） 八幡山町会納涼まつりで募金活動
8月30日（日） 親子木工まつりで募金活動
8月30日（日） 親和会親子夕涼み会で募金活動
8月31日（月） 協議会ニュース148号初校正
9月2日（水） 事務局会議
9月7日（月） 協議会ニュース148号再校正
9月15日（火） 協議会ニュース148号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。